

経営分析 I

科目ナンバリング MAN-325
選択 2単位

石毛 宏

1. 授業の概要(ねらい)

経営分析は、企業業績の実態、業績見込み、潜在するリスク、そして企業の強み・弱みなどを明らかにするための分析手法です。経営分析によって得られる情報は、企業にとっては、取引相手の実態把握、投資家(株主)との対話、自社の経営計画を始め、さまざまな経営場面で欠かせません。企業を的確に評価しなければならない投資家にとっても同じです。本講では、経営分析の基本的な理論と手法について学びます。

経営分析Iでは、分析資料の収集、企業概要の把握、産業分析、経営戦略分析、財務分析など、経営分析の基礎的なフレームワークを、実際の分析に即して学びます。

2. 授業の到達目標

- (1) 独力で分析資料を収集し、企業の概要と事業内容を的確に把握することができる
- (2) 企業の属する市場と業界の基礎的な分析ができる
- (3) 企業の経営戦略、財務内容の基礎的な分析ができる

3. 成績評価の方法および基準

中間と期末の計2回実施する授業内テストの合計点をもとに評価します(100%)。テストでは、授業内容を理解し、例題や宿題を修得したか、を問います。出席率も参考にします。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書はありませんが、授業毎にレジメを配布します。参考書はテーマ毎に授業中に紹介します。以下は、教科書に準ずる主な参考書の例です。

参考文献

石毛 宏(著) 『成長産業目利き講座―伸びるビジネスが診えるようになる』 きんざい

佐藤 裕一(著) 『ビジュアル 経営分析の基本』(日経文庫) 日本経済新聞社

5. 準備学修の内容

- (1) 関連科目(経営、会計など)の指示された事項を復習して授業に臨むこと
- (2) 授業終了後は、配布されたレジメと参考書を読み返し、該当のクラス討議と例題を、複数回、学習しなおすこと

6. その他履修上の注意事項

- (1) 簿記か会計学(財務会計)、経営学総論を履修している前提で授業が進みます。
- (2) 講義をよく聴くと共に、実際にケース(例題)を解いてみる必要があります。
- (3) 授業中のディスカッションでの積極的な参加(貢献)も期待しています。

7. 授業内容

- 【第1回】 経営分析の役割と手法を学ぶ (経営分析の入り口)
- 【第2回】 企業概要を把握しビジネスを理解する手法を学ぶ
- 【第3回】 企業の特徴と市場環境の分析手法を学ぶ
- 【第4回】 競争力の分析手法を学ぶ ―ビジネスに勝ち抜く力を診る力をつける
- 【第5回】 定性分析の要点を学ぶ ―技術、ビジネスモデル、販売力、経営力などの把握
- 【第6回】 経営分析のための財務諸表の理解(1)財務諸表の基本構成とその把握
- 【第7回】 経営分析のための財務諸表の理解(2)財務諸表の読み解く要点を学ぶ
- 【第8回】 財務分析の基本を学ぶ + 中間テスト
- 【第9回】 収益性の分析手法を学ぶ(1)―企業の稼ぐ力をどう把握するか
- 【第10回】 収益性の分析手法を学ぶ(2)―収益力指標の計算と評価の基本を理解する
- 【第11回】 成長性の分析手法を学ぶ―企業の成長力をどう把握するか
- 【第12回】 安全性の分析手法を学ぶ(1)―倒産の危機をどう見抜くか
- 【第13回】 安全性の分析手法を学ぶ(2)―安全性指標の計算と評価の基本を理解する
- 【第14回】 財務分析の総合演習(1)前半
- 【第15回】 財務分析の総合演習(2)後半 + 期末テスト